

JAAC だより

就職活動最前線レポート（3）

— 語学力は留学生の武器 —

前々号と前号では、私の公私共に恩師であるお二人の元大学教授（現非常勤講師）のT先生とO先生に、2000年ごろの“就職氷河期”と言われた時期と今年就職状況との比較や、就職内定率における“大学間格差と学部間格差”についてのご意見を伺い、まとめてみました。今号では、“留学生の英語力と就職活動について”をテーマにご意見を伺ってみました。就職活動中または就職活動を始めるJAAC生の皆さん、是非、ご参考になさってください。

『やはり、留学生にとっての強みは語学力でしょう』と、アメリカで教鞭を執っていたご経験があるO先生は仰っています。過去の「JAACだより」でもお話しましたが、企業が留学生に求めるものの中で語学力（英語力）は決して一番ではない、と言われています。しかし、そうは言っても留学生が持つ潜在的な語学力に魅力が無い訳ではありません。近年の日本の大学では、新入生に対してTOEICテストや同テストの模擬テストを実施する学校がほとんどです。これは、学生の語学力の向上を目指すもので、高い語学力は学生の資質の一つとして評価され、就職活動の際に少しでも有利になればという目論見もあります。企業側としても、より有能で魅力ある学生を採用しようとするわけですから、高い語学力を学生の能力の一つとして見ているのでしよう。

最近では、長期の留学を経験していない日本の大学生でもTOEICやTOEFLで高いスコアを取得する学生が増えてきています。留学生にとっては、そういう学生がいわばライバルでもある訳です。だとすれば、留学生であればTOEICは770点から800点以上、TOEFLであればPBT600点以上のスコアを取得しておくことが理想的だと思います。『留学生のわりには、TOEICスコアが日本の大学生とあまり変わらないなあ』と、企業側に思われないためにも、アメリカの大学で揉まれてきた留学生の皆さんには、これらのスコアを取得するのは可能なはずです。日本の大学の中には、TOEICスコアで650点以上を取得している者は、入試の英語科目を免除するという学校もあるほどです。ですから、留学生の皆さんは就職活動に合わせて、TOEICやTOEFLを受験しておくのと良いですね。

『私は理工系の教師ですが、語学力は留学生の武器だと思っています』と、T先生は仰っています。日本でも理工系の学生は実験データをまとめて論文を書くときは、英語で書く機会が増えてきています。当然のことながら、世界各国の大学や学術機関から発表される研究・実験データは英文による書籍や文献としてまとめられていますので、それを読み、理解するには高い英語力が必要なのです。大学の勉強においては、理科系や理工系だからと言って英語は必要ない、とは決して言えないのです。その意味からすれば、理科系・理工系の留学生はとてつもない環境にいると思います。T先生はさらに、『留学生の皆さんは、専門分野における高い英語力に加えて、日々の生活から培ってきた会話力が身に付いている訳ですから、これが強い“武器”にならない訳がありません』とも仰っています。確かに、理科系・理工系の学生は高校時代から理数系の勉強に重きを置くことが多く、英語の勉強をあまりしていないという傾向があります。理数の公式を覚えるのと同じように、英語の文法等は“英語の公式”として覚えてはどうでしょうか。

一口に英語力と言っても、『読み』、『書き』、『聞く』、『話す』と基本的には4技能がある訳です。一般的に、高いTOEICやTOEFLスコアを持つ日本の大学生は『読む力』と『書く力』を得意としています。それらは、文法の理解力や語彙力を上げていけば自然に高い得点を得ることができるものです。しかしながら、『聞く力』と『話す力』はそうはいきません。O先生は、『留学生の英会話と会話力は、その国の生活と文化や習慣をある程度理解しているからこそできるもの』と仰っていて、『その微妙な言い回しが留学経験の無い日本人学生とは違うところですよ』と、加えられています。会話力を否が応でも養うことができる環境にいる皆さんには、『聞く力』と『話す力』を増強するためのアドバンテージがあります。この環境を十二分に活かして、英語力の基本4技能の向上に努めてください。JAAC生はアメリカの大学に通っているのだからTOEICもTOEFLも高得点が取れるだろう、と一般の人々は思うでしょうが、実際の授業に必要な英語力と、TOEICやTOEFLに求められる英語力とは違うことは留学生の皆さんと私共にしか解からないことだと思います。皆さんは授業や宿題等に追われて忙しい毎日を過ごされていることと思いますが、何とか自分なりに時間のやり繰りをして、TOEICやTOEFLの勉強も続けてください。

※この続きは、次号の「就職活動最前線レポート（最終回）」において掲載いたします。（カリフォルニア事務局： 照井）

カリフォルニア通信

(カリフォルニア担当：新井 康平)

【新しい留学生が到着しました】この4月から、日本の大学生が1年間の予定でUCIに留学してきました。到着した当日から、その日に初めてお会いするホストファミリーのお宅でホームステイが始まります。学生達は皆、笑顔で簡単な自己紹介を済ませた後、ホストの人たちと一緒に新しい我が家に向けて、重いスーツケースを転がしながら行きました。この場面に立ち会う時はいつも、『大丈夫かなあ』と心の中で思っています。翌日、元気な笑顔でUCIに来てくれるように祈るばかりです。留学生にとって、現地に到着してから最初の2週間が一番大事な時期だと思います。何から何まで、全てが初めての経験であり、日本との違いをどのように受け入れていくか、それは本人でないと分からない大変な苦労もあります。特にホームステイをする学生にとっては、アメリカ人家庭の食事が合うかどうか、また、見知らぬ人たちと寝食を共にすることが始まるのですから、相当なストレスを受けることにもなるでしょう。また、各国からの留学生と交流を持ち、少しずつ友達を作っていく作業にも労力を費やすものです。日本とアメリカとは、そもそも国が違うのですから、ことばも違えば文化や習慣も違います。それらを自分なりに受け入れて、最初の2週間くらいの間に、この国に馴染んで暮らしていこうと思うことができれば、その学生はもう大丈夫だと思います。ここアーバインは、他のアメリカの地域に比べて日本人やアジア系の人々が多く暮らしています。ここは日本の食材も日本食専用スーパーで容易に手に入りますし、いきなり周りは全て欧米人だけ、という環境ではないので、留学生生活を始める最初の地としては適しているように思います。そして、徐々にアメリカのどこの土地に行っても、適応することができるようになれば良いと思っています。異なる文化圏での生活で大変な時期を乗り越えた後、ふと自分の留学生生活を振り返ってみると、何とも言えない達成感を感じるものです。それは、かつての私自身がそうであったように。今年、高校を卒業してミズーリへ留学したJAAC生の皆さんも、自分の夢に向かって頑張ってくださいね。私もカリフォルニアから応援しています！！

ミズーリ通信

(ミズーリ担当：ライマン・ピットマン)

【日本とアメリカとの医療システムの違い】先月の終わりに、一人の学生が緊急で盲腸の手術を受けました。術後の経過は順調でしたが、このことで日本とアメリカの医療システムの違いに気づかされました。日米間の大きな違いの一つは、アメリカは日本に比べ入院期間がとても短いことです。近年のアメリカの医療現場では、患者が必要としない医療機器がある病院から、患者をできるだけ早く自宅に帰すようにしています。その学生は、高度な技術を要する腹腔鏡手術を受けたので、従来の手術方法に比べて身体への負担も少なく、お腹に2箇所ほどの小さなキズを付ける程度のものでした。彼もまた、食が通るようになり、快方に向ったと同時に自宅に帰されました。病院に長居をするよりも、自宅に帰って療養する方が患者にとってはストレスが少なく、早く快方に向うとの理論的な裏づけもあるようです。他の学生達はあまりにも早い彼の退院に驚きを隠せず、少なくとも1週間は入院していると思っていたようです。もちろん、手術を受けた学生は行動に制限がありますし、日本の病院で入院しているくらいの期間は自宅で療養しなくてはなりません。比較的保守的とも言える日本の医療システムと、このようなアメリカの医療システムの双方に理にかなった点があるのですから、どちらの医療システムが良いのかを考えるよりは、双方の違いを受け入れる方が良いでしょうね。日米間のもう一つの違いは、退院後のケアですね。手術を受けた学生を術後の検診に連れていく際に、彼は『どこへ行くの?』と尋ねました。彼を乗せた私の車が、手術を受けた病院から離れて行くので不思議に思ったのでしょうか。私は、『医療クリニックだよ』と答えました。実は術後の検診などを受ける際は、近くの個人医院クリニックで済ませるのです。一般にアメリカでは、手術など緊急処置を要する場合はすぐに病院へ行きますが、それ以外で、ちょっと体調の不調を感じたりした際は、個人のドクターが診察するクリニックに行き診てもらいます。ですから彼は、術後の検診はまた同じ病院へ行くものかと思っていたのでしょうか。このように、医療のシステム自体が日米では異なるのです。

親と子の絆 “ある父親の叫び - それでもあいつは俺の息子なんだ・・・”

3月の終わりごろのことである。高校時代の友人から電話があつて、久しぶりに会って酒を飲むことになった。めったに電話などしてこない彼からの突然の呼び出しに、『これは何かあるな・・・』と思いながら実際に会ってみると、案の定私の予想は的中した。再会を祝って乾杯をした後に、彼の口から出たことばは、『実は、息子が引きこもりなんだ』であった。お互いの子供達が小さい頃、家族同士で何回か互いの家を行き来したことがあつたが、それ以降はあまり会う機会もなかった。話を聞いてみると、息子さんが高校時代から引きこもり気味になり、もう5年も続いていると言う。高校を退学した後、何とか大検だけは合格させたが、今後の進路について相談したいということだった。何とか息子を留学でもさせて、立ち直らせたという想いがあつたようだが、引きこもりの学生を留学させることは容易ではない。『照井、おまえは心理学もやっていたよな?』の彼の問いかけから始まって、延々、2時間以上に渡って彼と忌憚なく話し合った。やり場の無い悲壮感にも似た感情が、彼のことばの一言一句から感じ取ることができた。延々と息子さんの過去から現在までの状況を話した後、帰り際に彼が言った。『色んな問題を起こして俺達夫婦を悩まし続けているけど、それでもあいつは俺の息子なんだよ・・・』と。しばらくの間、この言葉が私の脳裏から離れなかった。どんなことがあつても、親子は親と子であつて、親が子を見捨ててはいけぬのだと改めて知らされた。他人から見れば問題児に見えても、それが我が子となれば、どんなことがあつても可愛いものなのだ。

(カリフォルニア事務局： 照井)

Siesta ちょっと、一休みしませんか…？

～ 万博は何で“Exposition”と言うのでしょうか？ ～

まもなく上海万博が開幕しますね。万博＝万国博覧会です。出展国が自分達の国の文化や産業、技術や科学の研究成果などを展示して、各国から訪れる人々に観てもらおう博覧会です。ここで“Exposition”ということばを見てみましょうか。語源的に分解してみると、そもそもの語源はラテン語の *expositio* ということばで、ラテン語系のフランス語ではそのまま *exposition* としました。*expose* の語源は *ex*(外へ) と *pose*(置く) という語から成りますので、*expose* は『見えるように外へ置く』という意味になります。そして、語尾に名詞を表す *tion* を付けて *expose + tion = exposition* となりました。こうして見てみると、『様々なものを多くの人々に見えるように外へ置く』という意味になり、これは正に“博覧会”そのものですね。ことばの語源を辿ってみると、以外に『なるほどね・・・』と思うような発見がありませんか。皆さんは普段から英語圏に暮らしていて、英語が身近な存在になっているのですから、時々、ことば(英単語)の語源を調べてみてはどうでしょうか。勉強にもなるし、結構楽しいですよ。

Help Line

FAQ

「なかなか将来の職業が決められません・・・(?)」

A: 自分が将来就こうとしている職業ですから、そう簡単には見つけられませんし、自分なりの答えを出すのも難しいでしょう。一つのヒントになればと思うのですが、自分が好きな職業や、小さいころに憧れていた職業などを思い浮かべてみることから始められたらいかがでしょうか。また、自分の回りにいる人々の様々な職業を見ながら、自分の適性も判断していくことが大切です。無限に時間をかけることはできませんが、落ち着いてある程度の時間をかけて、まず自分が興味を持っている職業を(いくつでも良いので)書き出してみることから始めましょう。就職を考える時は、会社名を意識するのではなく、自分がやりたい仕事(職種)をまずはっきりさせることです。次に、その仕事(職種)がどの業界に属するものかを明確にしましょう。そこまで決まってくると、自分の将来の姿が見えてくると思います。

【編集後記】 ●14日にアイスランドの火山が噴火し、噴出した火山灰の影響で日本からヨーロッパに向けての定期航空便が軒並み欠航となり、ヨーロッパ各国と日本で身動きが出来なくなった利用者が大勢いる。この火山灰が成層圏(地上約11,000m)まで達すれば、北半球の気象に深刻な影響を及ぼすと言う。また、このまま欠航が続くと日本—ヨーロッパ線に就航している各航空会社グループは一日約200億円の赤字になるそうだ。そうならないことを祈るしかない▼5月1日から10月31日までの日程で、中国で上海万博が開催される。世界最大規模の敷地面積を万博会場に充てているようだが、来場予定者数は当局が見積もった数よりも大幅に少ないという。当の中国では、人々の関心はイマイチのようだ■今月はじめにメキシコ北西部で大規模な地震があった。カリフォルニア州はメキシコと国境を接しているため、地震の第一報を知った時は正直ヒヤッとした。JAAC カリフォルニア生に被害がなかったので一安心▲日本では気温の寒暖の差が激しく、生鮮野菜の収穫に影響が出始めている。既に野菜の値段の高騰が始まっていて、キャベツ一つが何と300円だ。庶民の生活に影響が出なければ良いのだが。(照井)

Let me remind you . . .

★JAAC生の皆さん、保護者の皆さん、何でもお気軽にご相談ください

▲新型インフルエンザ(インフルエンザA(H1N1))における注意喚起の継続：厚生労働省は、今年3月下旬をもって今般の新型インフルエンザの流行は沈静化したとの発表をいたしました。世界的大流行(パンデミック)の最盛期も過ぎ、世界的に沈静化への傾向を示しています。しかしながら、今頃の季節の変わり目は風邪をひきやすく、体調を崩しやすい時期でもありますので、留学生の皆さんには引き続き注意をしていただくようお願いいたします。

★米国各地で開催されるジョブフェアやキャリアフォーラムへの参加：2011年・2012年卒業予定の皆さんにおかれましては、日本や米国各地で開催されるジョブフェアやキャリアフォーラム、海外大生を対象とした就職説明会などに積極的に参加されることをお勧めいたします。インターネット等でこれらのフェア開催日程を調べ、前もって皆さん各自のスケジュール調整を行い、多くの企業担当者やフェア開催団体のカウンセラーとの面談に努めてください。

※今年のキャリアフォーラムの予定は、<http://bostoncareerforum.usautstudy.com/800/post-86.html> を参照してください。

■メキシコの地震の報告：日本時間4月5日午前7時40分ごろ、メキシコ北西部を震源とするマグニチュード7.2の大きな地震が発生いたしました。JAACカリフォルニア生が多く住む地域での直接的な被害は出ておりませんので、ご安心ください。

●JAAC本部内保護者様専用ご連絡・ご相談窓口：

フリーダイヤル 0120-525-626 tokai@jaac.co.jp 担当：高瀬

JAAC日米学術センター 鈴木：t.suzuki@jaac.co.jp ©カリフォルニア担当：照井 k-terui@mtg.biglobe.ne.jp